

< アンケート結果の考察 >

- ・今回のアンケート調査は、平成18年度に続き、3回目である。
- ・全体としては縁石がなくなったの印象は歩き易い、走り易いとの回答が多数占め、前回と同様好評であることがわかる。
- ・着色については「歩道の区分が分かり易い」との回答が、徒歩、自転車・オートバイ利用者では大多数を占め、前回と同様の結果となったが、自動車利用者では5割にとどまっている。特にプロドライバーでは5割の人が「分かりにくい」と回答している。
この原因については今後、確認を実施していきます。
- ・安心度については「色で区分されているので安心」とした回答が徒歩、自転車・オートバイ利用者では7割を超えているが、自動車利用者では3割にとどまっている。
反対に、「縁石がないため車が怖い」との回答が歩行者で2割、「人のはみ出しが怖い」との回答が自動車利用者で6割を超えている。歩行者、運転者とも交通マナーを守ってこそ交通安全といえる。
- ・着色した色についての質問では、前回と同様、茶色が好まれていることがわかる。
- ・違法駐車を抑止には、前回と同様、着色してもあまり効果がないようである。
- ・自転車・オートバイ利用者にとっては、前回と同様、通行性、安全性が向上し、着色効果が引き続き発揮されていることがわかる。
- ・自動車利用者にとっては走り易くなった反面、縁石がないことから歩行者に注意を払いながら運転していることがうかがえる。
また、駐車については気をつかいながらも縁石がないことから着色部分に駐車してしまう傾向が見える。